

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和07年04月10日

計画の名称	七隈線沿線地区（第４期）都市再生整備計画事業													
計画の期間	令和０４年度　～　令和０８年度（５年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	福岡市													
計画の目標	大目標　：　地下鉄七隈線沿線の人とまちと自然が調和した、魅力あるまちづくり 目標１　：　七隈線沿線の都市機能強化による ” 居住者の利便性向上 ” 目標２　：　豊かな自然環境を活かした防災対策による ” 安全・安心な空間の形成 ”													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		1,934	A	1,934	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2,R3		R8
1	対象地域内の居住人口を 40,699人(R3) から 40,900人(R8)に減少傾向を緩和させる。			
	居住人口	40699人	人	40900人
	対象地域内の居住人口			
2	対象地域内各駅の年間の乗降客数の合計値を 22,290人/日（R2）から 27,690人/日（R8）に増加させる。			
	駅乗降客数	22290人/日	人/日	27690人/日
	対象地域内各駅の年間の乗降客数の合計値			
3	公園の満足度を 52.3%（R3）から 57.3%（R8）に増加させる。			
	公園満足度	52%	%	57%
	区域内住民を対象とした満足度調査			
4	地域の防災など安全・安心に関する満足度を 42.8%（R3）から 50.0%（R8）に増加させる。			
	地域の防災など安全・安心に関する満足度	43%	%	50%
	区域内住民を対象とした満足度調査			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	福岡市	直接	福岡市	-	-	七隈線沿線地区（第 4 期） 都市再生整備計画	520.9ha	福岡市						1,934		-
											小計						1,934		
											合計						1,934		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	158	201	131		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	158	201	131		
前年度からの繰越額 (d)	6	0	47		
支払済額 (e)	164	154	68		
翌年度繰越額 (f)	0	47	110		
うち未契約繰越額(g)	0	7	7		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	3.48	3.93		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

都市再生整備計画(第3回変更)
七隈線沿線地区(第4期)

福岡県 福岡市

令和 7年 3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	七隈線沿線地区(第4期)	面積	520.9	ha
計画期間	令和4年度～令和8年度	交付期間	令和4年度～令和8年度					

目標
大目標：地下鉄七隈線沿線の人とまちと自然が調和した、魅力あるまちづくり 目標1：七隈線沿線の都市機能強化による”居住者の利便性向上” 目標2：豊かな自然環境を活かした防災対策による”安全・安心な空間の形成”
目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況
○地下鉄七隈線は、福岡市西南部地域の慢性的な交通渋滞の改善を図り、将来の交通需要の増大に対処するとともに、西南部地域における高速輸送サービスの提供及び均衡あるまちづくりを推進するために平成7年に事業着手し、平成17年2月に開業した。
○令和8年における本市の望ましい姿の実現に向け、平成24年12月に策定した「第9次福岡市基本計画」において、都市のストックを最大限生かしながら、都市活力や市民生活の核となる各拠点の特性に応じて、都市機能や交通利便性の充実強化を図るものとしている。
○拠点駅である橋本駅周辺では、平成22年度に橋本土地区画整理事業が完了し、橋本駅前広場の整備やショッピングモールの誘致など計画的なまちづくりが図られている。
○今後も地下鉄の利便性向上や、駅周辺の交通安全性の確保を図るため、引き続き、駅周辺の道路整備や駅周辺における民間開発の誘導、地域によるまちづくりの支援を行っていく。
○室見川水系をはじめとした豊かな自然環境に囲まれている。

課題
○駅へアクセスする道路の整備改善や交通結節機能の強化を含む駅の拠点性が向上し、地下鉄の利便性向上が図られた。今後は、未整備区間を含めたさらなるアクセス性向上や利便性向上を目指した整備が必要である。
○橋本駅周辺では横断歩道橋及び駅エレベータの設置による駅の利便性向上や駅へのアクセス道路の整備等により、来街者の地下鉄利用促進が図られたが、全体事業としては一部未完成であるため、事業の早期完成が求められる。
○これまで公園等の快適で安全安心な環境形成が図られており、今後も継続して未整備である公園等の整備を推進していく必要がある。
○地区内のアンケート結果によると、地下鉄七隈線の開業に伴う駅周辺の開発等により七隈線沿線のまちづくりが進んだことで地域のまちづくりに対する意識が高まっており、今後地域のまちづくり活動や地域交流に対しての支援が必要である。
○平成19年度の市政アンケートによると公園や公園的な場所の魅力があると思う場所として三番目に室見川が挙がっている。
○居住人口のデータから、地区内では高齢化が進展している一方で、七隈線の開通やまちづくりの進展により、子育て世代を中心とした人口の流入も図られ、人口構成が変化している。
○地区内のアンケート結果によると、地域の取組みに満足をしていない方が依然として6割以上おり、人口流入や高齢化に伴い、地域コミュニティが希薄化による従来地域コミュニティが果たしてきた見守りや支え合いといった機能の低下が懸念される。
○変化した人口構成に合わせた公園の計画的な再整備を行う必要がある。
○地区内のアンケート結果によると、自然災害への備えに関する満足していない方が7割以上おり、浸水対策や既存の避難場所等バリアフリー化など、実際に使用する地域のニーズに合った対策が必要となっている。

将来ビジョン(中長期)
【総合計画】
○福岡市基本計画では、当地区のまちづくりの方向性を以下のとおりとしている。
・早良区のまちづくりの方向性:「お互いが支え合い安全で安心して暮らせるまち」「区の特性を生かした魅力あるまち」など
・西区のまちづくりの方向性:「自然を生かし、環境にやさしいまち」「賑わいと楽しさがあり、地域が支え合う、生き生きと暮らせるまち」「子供から高齢者まで安全で安心して暮らせるまち」 など

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
対象地域内の居住人口	人	対象地域内の居住人口	都市機能強化による居住者の利便性向上等により、地域内の人口減少の緩和を図る。	40,699	R3	40,900	R8
対象地域内各駅の年間の乗降客数	人/日	対象地域内各駅の年間の乗降客数	駅前広場や自転車駐車場の整備により、交通結節機能の強化し駅乗降客数の増加を図る。	22,290	R2	27,690	R8
公園の満足度向上	%	区域内住民を対象とした満足度調査	公園整備により憩いの空間が確保されることで、公園に対する満足度の増加を図る。	52.3	R3	57.3	R8
地域の防災など安全・安心に関する満足度向上	%	区域内住民を対象とした満足度調査	浸水対策や避難施設の整備、道路整備により、地域の安全安心に対する満足度の増加を図る。	42.8	R3	50.0	R8

整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1 七隈線沿線の都市機能強化により、居住者の利便性向上を図る	・七隈線沿線のさらなる良好なまちづくりを図るため、都市サービスの充実化を図る施設の整備。	◇道路 橋本駅駅前広場 都地姪浜線（橋本駅入口交差点） ◇公園 賀茂中央公園、苓岐団地中公園、苓岐団地南公園、苓岐団地北公園 ◇地域生活基盤施設 橋本駅自転車駐車場 ◇高質空間形成施設 名柄川環境整備 ◇関連事業 橋本駅前土地区画整理事業、地下鉄七隈線延伸事業
	・室見川や名柄川といった河川空間を活用した景観形成や緑豊かな歩行空間の整備。	
整備方針2 豊かな自然環境をいかし、安全・安心な空間の形成を図る	・地域防災計画において避難所及び避難場所として位置付けられる公園等の整備を行い、安全安心な環境形成を図る。	◇公園 賀茂中央公園 ◇提案事業 認知症施策推進 ◇関連事業 橋本駅前土地区画整理事業、都市基盤河川改修事業
	・浸水対策を進め、自然災害に備えた防災対策を図る。	
その他		

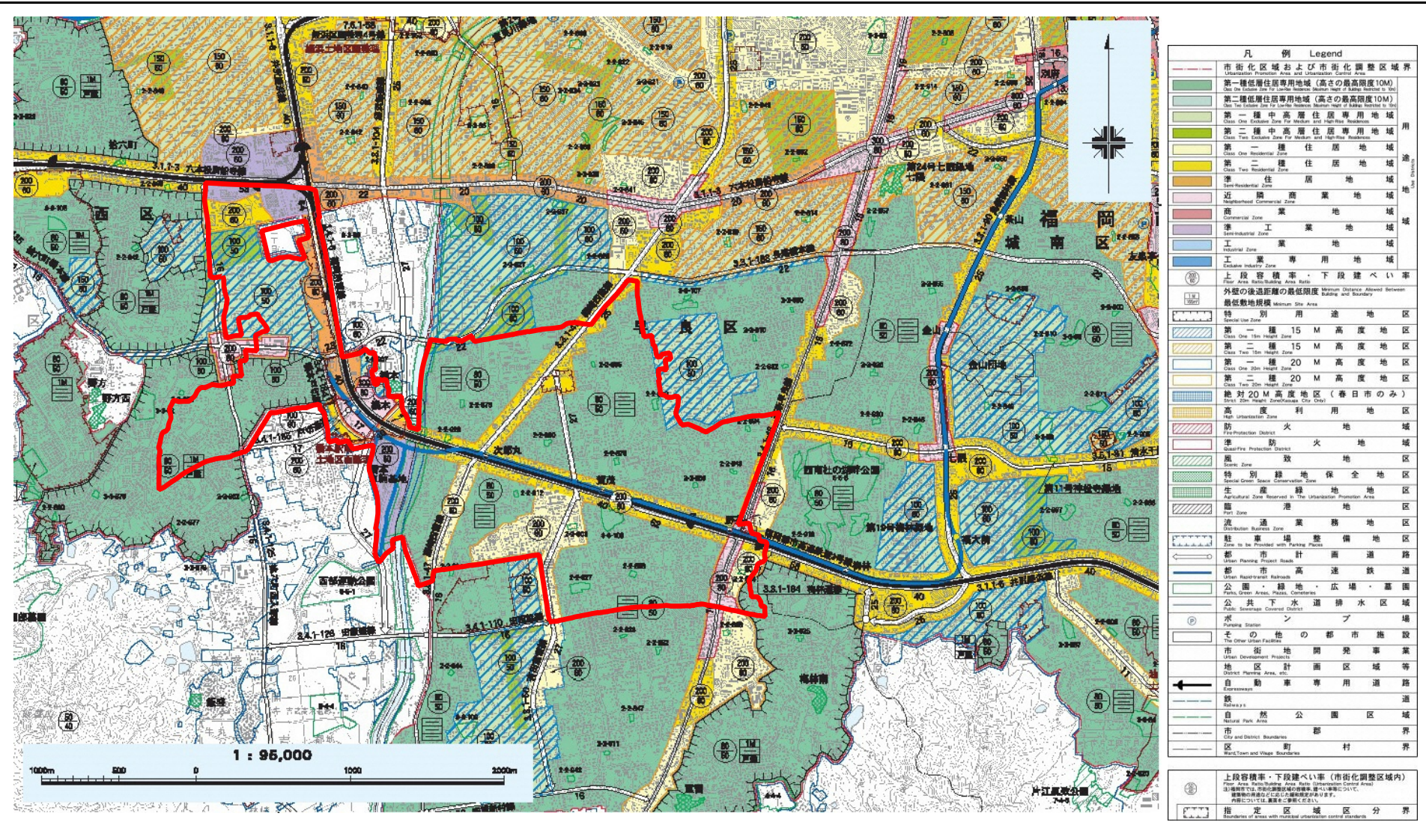
(金額の単位は百万円)

...A

...B

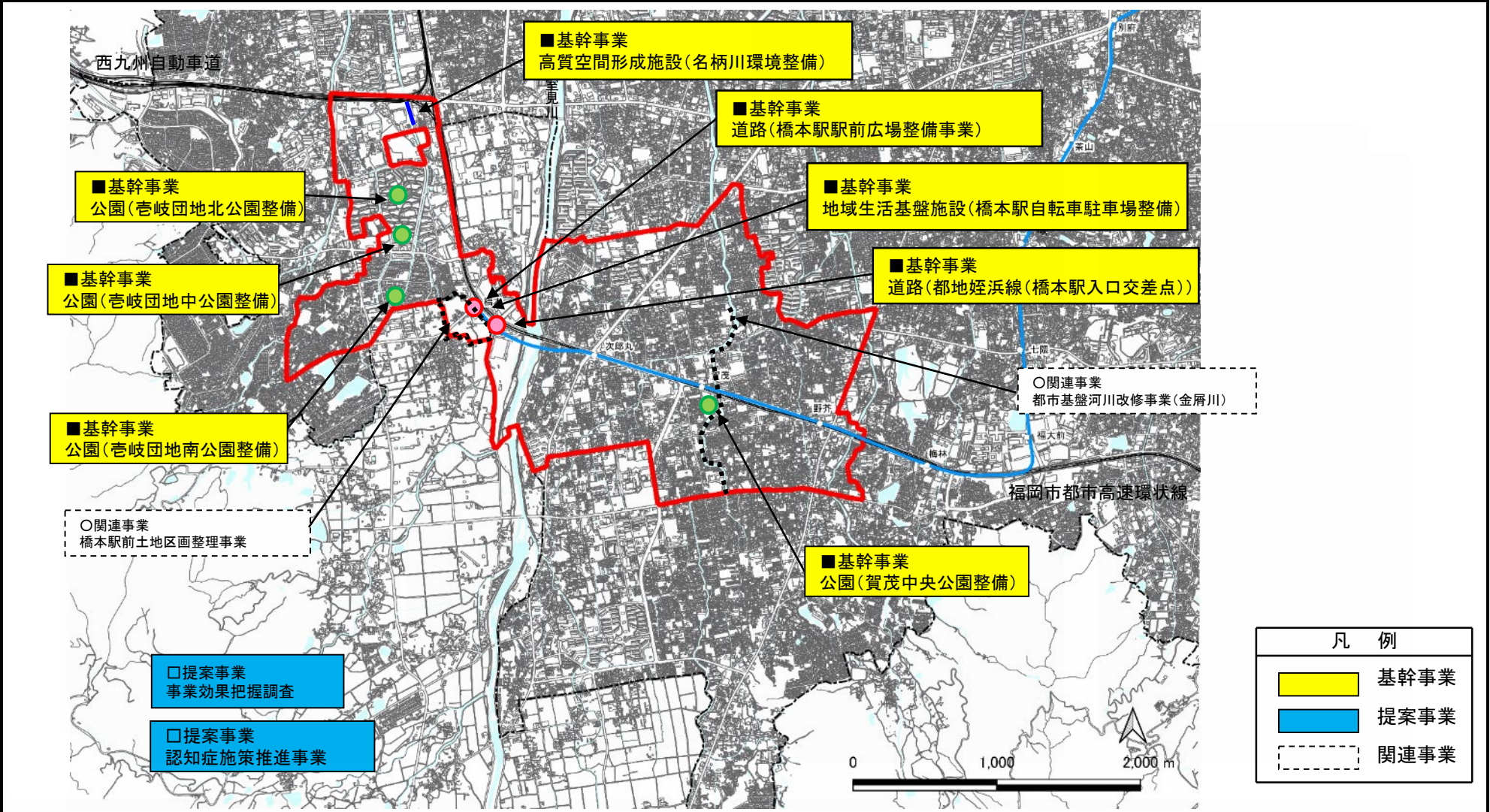
088.424

七隈線沿線地区(第4期)(福岡県福岡市)	面積	520.9 ha	区域	【早良区】原8丁目、干隈3丁目・5～6丁目、野芥1～2丁目、有田3～6・8丁目、有田団地、賀茂1～4丁目、田隈1～2丁目、次郎丸1～6丁目 【西区】拾六町3～4丁目・1丁目の一部、老岐団地、野方2丁目、戸切1～2丁目の各一部、大字橋本の一部、橋本1～2丁目の各一部
----------------------	----	----------	----	--



七隈線沿線地区(第4期)(福岡県福岡市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	大目標: 地下鉄七隈線沿線の人とまちと自然が調和した、魅力あるまちづくり 目標1: 七隈線沿線の都市機能強化による”居住者の利便性向上” 目標2: 豊かな自然環境を活かした防災対策による”安全・安心な空間の形成”	代表的な指標	対象地域内の居住人口 (人)	40,699 人 (3 年度) → 40,900 人 (8 年度)
			対象地域内各駅の年間の乗降客数 (人/日)	22,290 人/日 (2 年度) → 27,690 人/日 (8 年度)
			公園の満足度 (%)	52.3 % (3 年度) → 57.3 % (8 年度)
			地域の防災など安全・安心に関する満足度向上 (%)	42.8 % (3 年度) → 50.0 % (8 年度)



事前評価チェックシート

計画の名称： 七隈線沿線地区（第４期）都市再生整備計画事業

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 １）まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 ２）上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 １）地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 ２）まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 １）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 ２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 ３）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 ４）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 ５）地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 １）十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 ２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 １）まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 ２）住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 ３）継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 １）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]